

02	まちの話題
04	特集1 妊娠・子育て支援について
06	特集2 令和8年度当初予算
08	多久市からのお知らせ
19	あじさいへ行こう！
20	教育委員会日より
23	健康ノススメ
24	おたっしゅ日より
26	まちのPickUPインフォメーション
30	Hi POSE ほか

2月17日[Tue]

久光スプリングス株式会社と連携協定を結びました



▲右から岩坂さん、小早川代表取締役、香月市長、荒瀬副市長

SAGA久光スプリングス株式会社と多久市は、スポーツを通じた地域活性化や次世代の育成推進を目的に連携協定を締結しました。

SAGA久光スプリングス株式会社の小早川武徳代表取締役は「私たちもつ女性のアスリートチームという特性を活かして、多久市の地域課題に貢献できる活動をしていきたいと思っています」と話されました。

SAGA久光スプリングスOGの岩坂名奈さんからは市内のバレーボールを頑張る子どもたちへ「強くなるためには何より、よく食べて、よく寝てしっかりとした体をつくるのが大切です。そしてバレーボールを楽しみながら取り組んでください」とメッセージをいただきました。

香月正則市長は「この締結をきっかけにスポーツを通じたまちづくりをともに進めていきたい」と話しました。

3月2日[Mon]

長年の功績を讃えて、小森さんらが総務大臣表彰等を受賞



▲(左から) 賞状を手にする小森さん、中原さん、宮丸さん

「国民参政135周年・普通選挙100周年・婦人参政80周年記念における選挙関係功労者表彰」として、多年にわたり選挙の適正な管理執行にご尽力された小森弘さん(東多久町)が総務大臣表彰、中原博秋さん(西多久町)、宮丸忠二さん(南多久町)が総務大臣感謝状を受賞されました。

この表彰は、日本で初めて国政選挙が行われた明治23年(1890年)から135年、普通選挙法公布から100年、そして女性に参政権が付与されてから80年という歴史的な節目を記念して、総務省が行っているものです。

小森さんは平成15年から現在まで22年間、中原さんは平成27年から現在まで10年間、宮丸さんは平成21年から令和6年まで15年間にわたり、多久市選挙管理委員会委員として、ご尽力いただき、選挙の管理執行に大きく貢献されました。

3月6日[Fri]

市内義務教育学校で卒業式



▲式典後、卒業生が壇上に上がり歌を披露しました

市内義務教育学校で卒業証書授与式が行われ、141人の卒業生が新たな道へと歩み始めました。

東原彦舎東部校では5～8年生が式に参列。卒業生35人の門出を見守りました。

渡邊夏美校長は「みなさんは東原彦舎東部校が開校したときに入学しました。みなさんには無限の可能性があります。何事にも臆することなく邁進してください」とエールを贈りました。

卒業生代表の百崎蒼空さんは「すべてが自分の大切な一部だと思うようになったのは、どんな私たちも受け止めてくださった先生たちのおかげです。15年間いつもそばにいてくれた家族にも感謝しています。ありがとうございます」と、感謝の言葉を述べました。

今月の論語

疑わしきには 疑問。

問を思ふ

出典：季氏第十六

わからないときはしつもんをしましょう。

今月の帰宅放送は、東原彦舎東部校9年の山田紋夢さんです。